

コナの表彰台を目指して
もっとタフに闘うために。

Mag-on Your Challenge

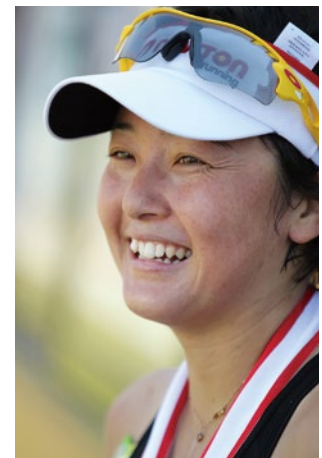
#004



アスリートの挑戦に、マグネシウムを

田中敬子さん

プロトライアスリート
チームゴーヤー所属



Keiko Tanaka

ロングの最高峰、アイアンマン世界選手権（ハワイ島コナ）でのトップ10入りを目指して世界を転戦するトップアスリート。2013年、51.5kmからミドル～ロングに転向して以来、アイアンマン70.3知多常滑、ロング日本選手権（佐渡）、宮古島など国内主要レースを総なめにし、アイアンマン・ジャパン北海道でも国内勢としては最高位の3位入賞を果たしている。チームゴーヤー所属。1984年、福岡生まれ。

2014年8月、アイアンマン・ジャパン北海道のスタートライン、洞爺湖の湖畔に立つ。コナへの闘いはまだ始まったばかり

オリンピックディスタンスからロングディスタンスの世界へ——。渦巻く不安は身体に押し込み、大きな決意は胸に抱き。新たなステージに挑んで3年目。田中敬子にとって今シーズンは、勝負の年になる。

「ロング転向に際しての大きな目標だったアイアンマン・ハワイ出場を今年こそは決めたいですね。まだコナのスタートラインにも立てていないですから。今年は結果が欲しいです」

昨年の宮古島では優勝。ロングディスタンスで強さを見せていないわけではない。ただアイアンマンのレースではまだ望んだ結果が出ていない。そのもどかしさは自身が一番感じている。

決意の新シーズンに向け、ここまでバイク強化を積極的に行ってきた。つい最近タイでキャンプ中の新城幸也らロードレース日本代表チームに合流。1日200kmを超えるトレーニングを共に行うことで、メンタル、フィジカル共に研ぎ澄ませている。

そのキャンプ中、さらには帰国後と積極的に摂っていたのが、マグ・オン。「ボトル1本に1スティックを溶かして飲んでいたんですが、一度、摂り忘れたときがあった。そのときは、ライド中に脚がつりそうな感覚が何度かありました」

理想とするレース展開は、オリンピックディスタンスの頃と同じ、スイムからドンドン前に出ていくスタイル。「ロングでも同じ展開でリズムを作れるようにしたいですね。第1バックで上がれば、バイクでも付いていくことができ、ランではそれほど離されない自信があります。これまではちょっと慎重になり過ぎたというか、以前の

エネルギーと一緒にMgチャージ！
ただのエネルギー補給に革命を。

レースなどでの素早いエネルギー補給には欠かせないエナジージェルに、水溶性マグネシウムをプラスしたMag-onジェルタイプがついに登場。エネルギー切れやマグネシウム不足による急激なパフォーマンス低下が気になる人に。

エネルギー120kcal
マグネシウム50mg
1個41g フレーバー／梅、グレープフルーツ

NEW
新発売



両フレーバーとも甘過ぎずさっぱり爽やかな味で、飲みやすさも追求



2014年の宮古島大会では、プロトライアスリートとしてコナに挑んできた先輩でもある酒井絵美(写真左)とともに表彰台に上る。ロングへの挑戦を決意するにあたって、酒井の存在は大きかったという



闘い続けるアスリートを応援する
《水溶性マグネシウム》

Mag-on® (マグ・オン)

不足しがちなマグネシウムを素早くチャージ

毎日のトレーニングやレースでの発汗、ストレスなどにより失われる必須ミネラル「マグネシウム」を効果的に吸収。Mag-onは、高純度な国産のマグネシウムを、素早く溶けて、吸収率の高い水溶性に加工した、アスリートのためのサプリメントです。

30包入り ¥6,900 (税別)
8包入り ¥2,000 (税別)

マグネシウム200mg
1包3.7g
レモンフレーバー／顆粒タイプ
カルシウム、各種ビタミン類も配合



顆粒スティック裏面には闘い続けるアスリートに捧ぐ24種類メッセージを



30
Packets

8
Packets

積極性がなかった気がします」
今シーズンは4月のアイアンマン台湾から。翌週に宮古島、そのほか、コナへの予選となるアイアンマン・シリズ戦にも数レース出場する予定。
「スティックタイプはランでも摂れるし、新しく出たジェルも味が甘ったるくなくて、すごく摂りやすい。特にグレープフルーツ味は、レース中にもリフレッシュできると思います」
過密スケジュールにも耐えなければいけない。精神も肉体も今よりタフに。コナの表彰台に立つまでは。